

【福島原発はいま・・・3/20～4/11の各指標推移】（4/11現在）

「東京電力福島第一原子力発電所の事故は、過去に人類が経験した米スリーマイル島や旧ソ連チェルノブイリの原発事故とはまったく違った展開を見せている」「前例のない長期の放射能汚染事故の様相を呈する」(4/10付 日経新聞)。

原子力安全保安院から公表されている、3/20～4/11までの「原子炉の状態」(プラントパラメータ)の推移を下記に示します。

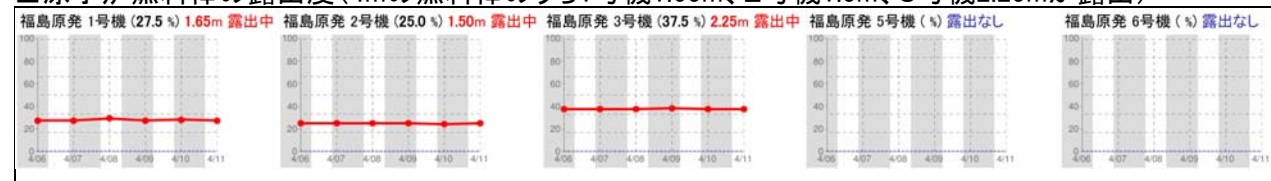
核燃料の臨界反応は止まっているものの、冷却機能喪失により、核分裂生成物による発熱や爆発を経て、大量の水や海水の放水・注水で、発熱と冷却のきわど

いバランスを往ったり来たりしている様子。大量の放水で溢れた放射性汚染水を海に放出せざるを得なくなり海洋汚染も辞さず。

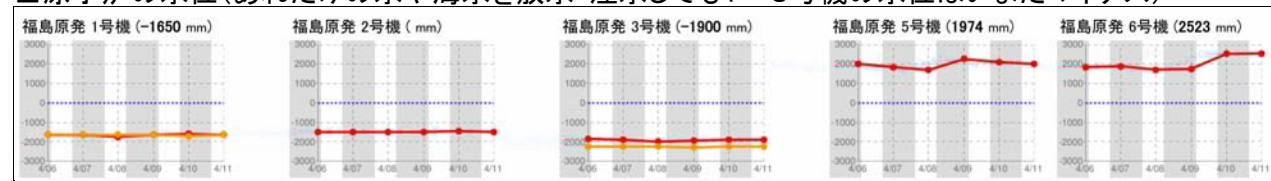
3/25、1号機の地下の溜まり水から「塩素38」(クロル38)が、核種の中でいちばん多く検出された。海水(塩水)に中性子が当たって放射性化したと考えられる。一時的な「再臨界」によって中性子線が出された模様。

4/6夜中から格納容器の爆発を予防するために、1号機の格納容器へ窒素封入が開始された。4/8(金)夜8時すぎ、1号機原子炉内の放射線量が40Sv/hから100Sv/hに急上昇。炉の圧力も上昇。4/9には「超純度

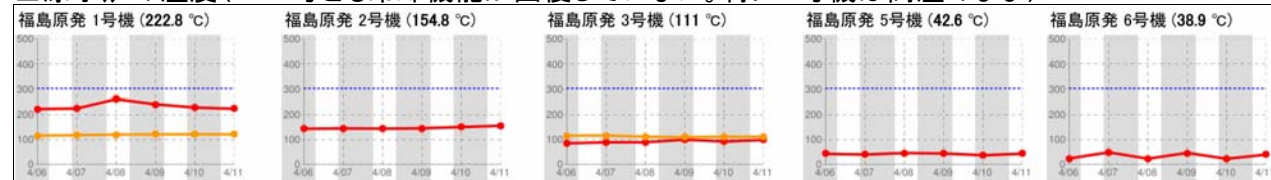
■原子炉燃料棒の露出度(4mの燃料棒のうち1号機1.65m、2号機1.50m、3号機2.25mが露出)



■原子炉の水位(あれだけの水や海水を放水・注水しても1～3号機の水位はいまだマイナス)



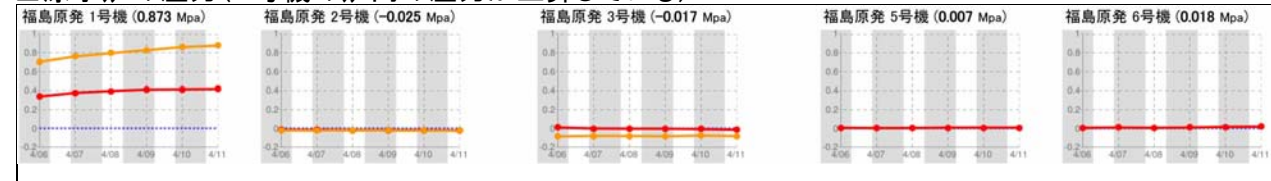
■原子炉の温度(1～3号とも冷却機能が回復していない。特に1号機は高温のまま)



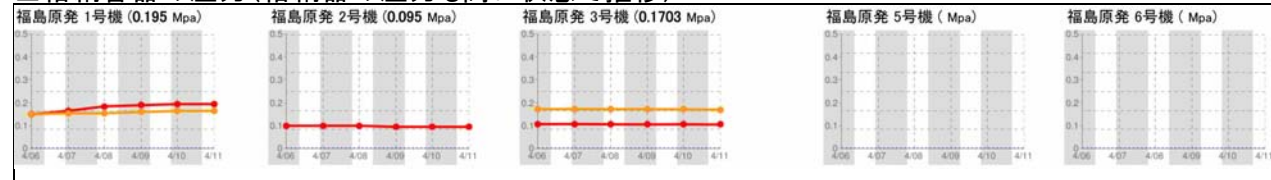
■原子炉の放射線量(4/8、1号機の放射線量が突然2倍以上跳ね上がり、100 Sv/hに)



■原子炉の圧力(1号機の炉内の圧力が上昇している)



■格納容器の圧力(格納器の圧力も高い状態で推移)



【ゴールデンウィークの注文について】

この商品案内・注文書は5月1回です。

5/2～5/6 ゴールデンウィークは通常通りの供給です。



●今週は、5月1回分と、2回分のふたつの注文書をお届けしています。ゴールデンウィーク前の週に「同時提出」をお願いいたします。

【東日本大震災一復興支援】

被災地に寄せる組合員の気持ちを早く伝え、活用してもらおう

●被災生産者へのお見舞い金・支援資金(第一次)4/13には生産者へ

3/28～4/8までの最初の2週間で組合員からお預かりしました「支援金」630万円を、震災・津波、原発事故被害を受けた33生産者に、一律の「お見舞い金」と被災状況に応じた「支援資金」として、取り急ぎ第一次として4/13までに振込・お届けしました。

被災から1ヶ月一

●緊急の食糧・物資支援から復興支援へ

安否確認からはじまり、翌週からの被災地への食糧・物資のお届けで、命をつないでもらう救援支援の1ヶ月。本当に幸いにも生産者の皆さんの無事が確認できました。

1ヶ月。いよいよ具体的な「復興」に向けた支援体制を組みます。人海作戦と同時に、業者会の協力で、4/16より現地に重機やダンプを運び込んで、瓦礫撤去や泥砂除去、工場設備の復旧支援を開始します。

産地災害復興基金募金 (1口 500円)

注文用紙で申し込めます No. 467

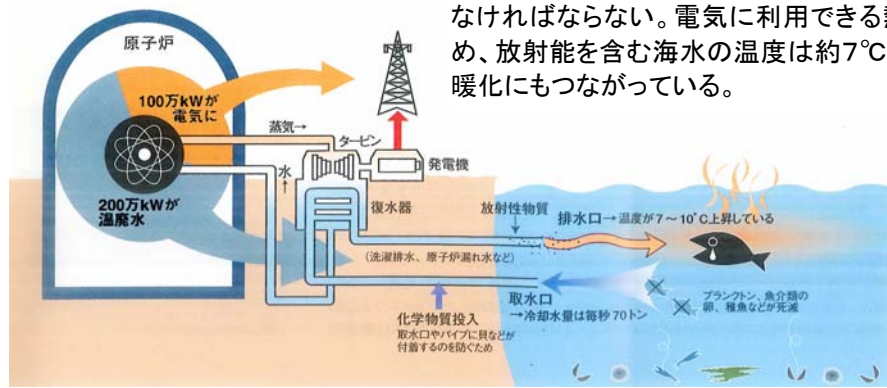
○注文用紙のこの番号に「1」と記入すると500円、「2」記入で1,000円となります。  
○商品代金と同じ請求にて自動引き落としをさせていただきます。5月4週まで継続します。

# 【原子力発電・・・資料集】

今週は2つの注文書同時配布のため、原子力発電や放射能に関する資料を紹介します。

## ■1基1日で「死の灰」広島原爆4発分。熱の2/3は海を温めている。

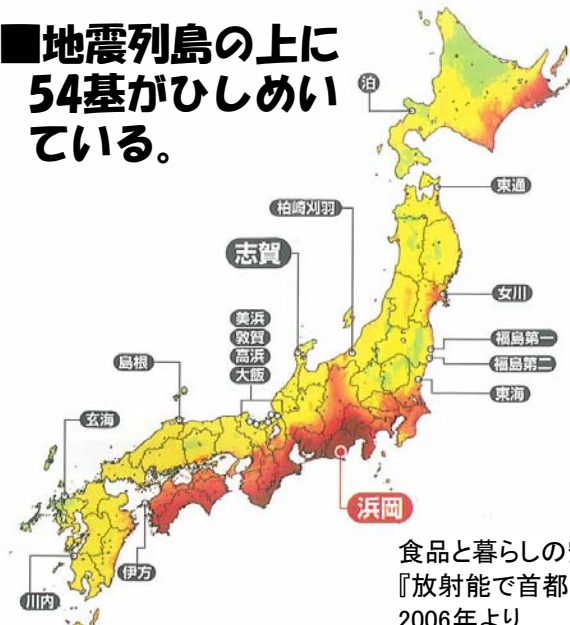
毎日膨大なエネルギーを生みながら、原子炉での核分裂を冷却コントロールするためには、原発1基ごとに毎秒70トンもの海水を取り入れて冷却しなければならない。電気に利用できる熱は1/3で、残り2/3の熱は海を温め、放射能を含む海水の温度は約7°C温められる。原発温排水は地球温暖化にもつながっている。



原発1基が1日に3kgほどのウランを燃やして生み出す「死の灰」(放射能のごみ・燃えかす)は広島原爆4発分。日本で原子力発電が始まって以降、原発は6兆キロWhを越える電力を供給したかわりに原爆120万発分の「死の灰」を生み出し

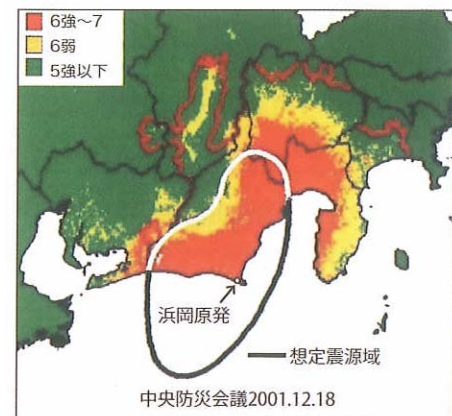
日本カトリック正義と平和協議会パンフレット『原子力発電は温暖化防止の切り札ではない』より

## ■地震列島の上に54基がひしめいている。



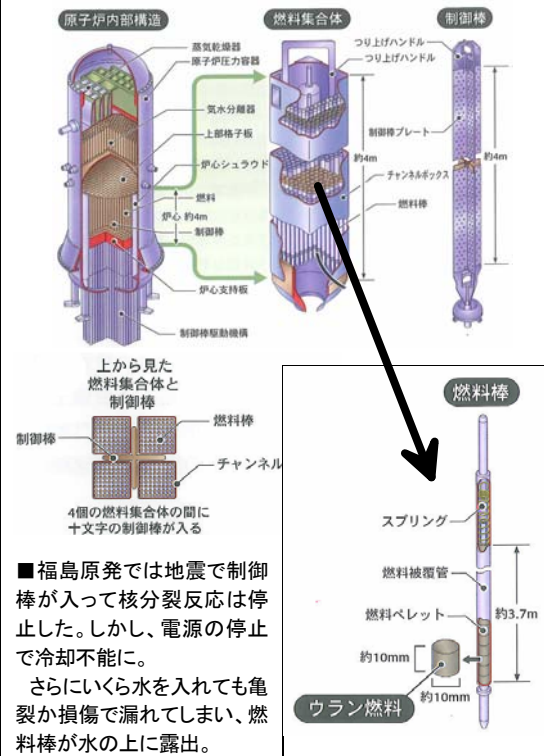
食品と暮らしの安全基金『放射能で首都消滅』2006年より

## ■静岡、浜岡原発は直ちに停止を！



## ■東海地震の震源域にある「浜岡原発」

## ■核分裂反応を「制御棒」と「水」で制御しなければならない原子炉压力容器

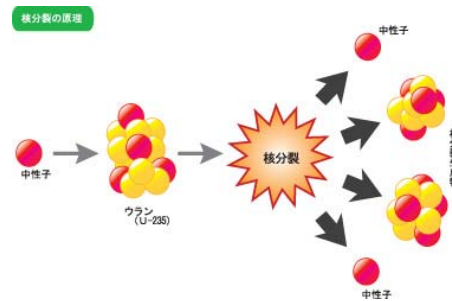


■福島原発では地震で制御棒が入って核分裂反応は停止した。しかし、電源の停止で冷却不能に。さらにいくら水を入れても亀裂が損傷で漏れてしまい、燃料棒が水の上に露出。

■核分裂生成物が出す熱で燃料を包んでいる筒～被膜管が溶け、1cm×1cmの円柱のウラン燃料ペレットがポロポロこぼれ落ち、燃料棒の隙間に溜まり、再臨界してパッと水が沸騰、膨張し泡に、泡が潰れて冷え、再臨界停止。こうした事態がずるずる繰り返されていると言われている。

■高濃度放射能下で作業が困難な中、早く亀裂や損傷を直し、容器の水の漏出を止めて冷却機能を回復させることが急務。早く終息して欲しい！

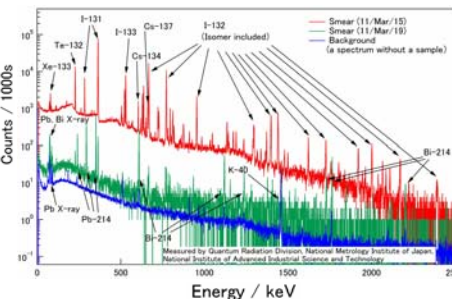
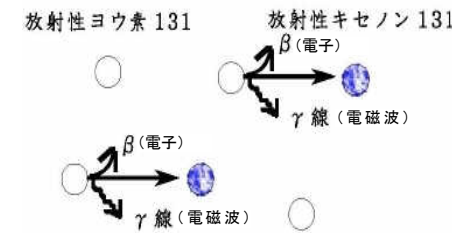
## ■核分裂で出来る熱と中性子と核分裂生成物(放射性物質)



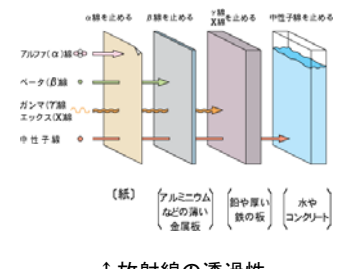
## ■核分裂生成物

(希ガス)キセノン133など(揮発性)ヨウ素131セシウム134、137(非揮発性)ストロンチウム90など

ヨウ素131はベータ崩壊してキセノン131に壊変する。このときβ線(電子の粒子)を放出し、細胞の遺伝子マテリアルに損傷を及ぼす

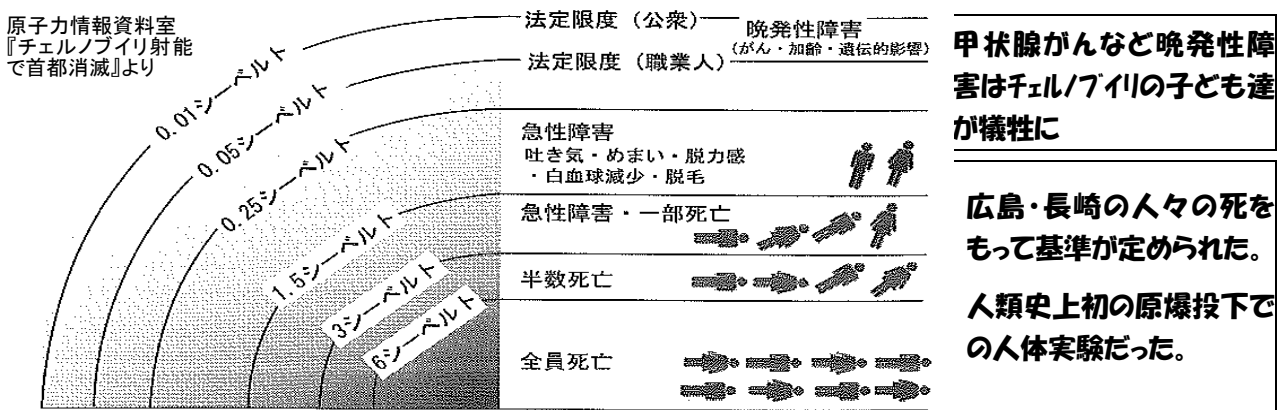


←つくば市産総研でビニールシートの上に降下したほこりから放射線のエネルギーを測定して降下した核種を調べている。上部が3/15、下部の幅のある方が3/19、濃いところがバックグラウンド。3/15にはヨウ素、セシウム、キセノン、テルルといった放射性核種が検出されている。自然界には存在しない人工核種であることから福島原発から放出されているとされる。



↑放射線の透過性

## ■放射線の人体への影響～ヒバクシャの歴史が刻まれた「基準」そして今、再び福島原発事故で日本人が疫学調査の実験台となる歴史の皮肉



甲状腺がんなど晩発性障害はチェルノブイリの子も達が犠牲に

広島・長崎の人々の死をもって基準が定められた。人類史上初の原爆投下での人体実験だった。